

## 知事談話

本日、4月1日付けで総数1,691人の人事異動を発表いたしました。

令和8年度は、知事としての任期も2期目の折り返しを過ぎ、愛する高知が人口減少の時代を生き残り、再び活力を取り戻すためのラストチャンスともいえるべき正念場の年となります。このため、県庁が改革の先頭に立ち、リスクを取って挑戦していく「生まれ変わる勇気」を発揮できる1年にしたいと考えています。

それに向け、各施策を着実に進めながら、新たな取組にも果敢に挑戦できるよう組織改正と人事配置を行いました。また、管理職を含むポスト職に女性職員を積極的に登用し、女性の活躍の場の拡大と、その能力を発揮してもらうよう意を用いたところです。

引き続き、官民協働、市町村政との連携協調の下、時代の変化を先取りし、絶えず施策を進化させながら、県勢浮揚に向けて、職員とともに、全力で取り組んでまいります。

### 【異動のポイント】

#### ○変化を恐れず果敢に挑戦するための布陣

部長級においては、元気な未来創造戦略をはじめとした基本政策を着実に前に進め、成果を出していくために、率先して「生まれ変わる勇気」を発揮し、新たな取組にも果敢に挑戦していく布陣としました。

#### ○幹部職員への女性職員の登用

- ・部長に女性2名、副部長級に女性3名を登用  
部長：子ども・福祉政策部長、文化生活部長  
副部長級：子ども・福祉政策部副部長、文化生活部副部長、中央児童相談所長
- ・管理職に占める女性の割合は22.0%で、過去最高
- ・2等級の女性職員数は53名で、過去最多

### 【異動の規模】

今回の人事異動については、組織の活性化とともに、職員の能力が最大限発揮されるよう適材適所の人事配置を行いました。異動規模については、昨年を140人上回る1,691で、近年では最大規模となりました。

※ R7:1,551人、R6:1,624人、R5:1,590人

### 【庁議メンバー等】

部局長級である庁議メンバー（知事、副知事、教育長、県警本部長を除く）は現在18名で、このうち異動は10名（うち退職者8名）となっています。

また、副部長級の政策調整会議メンバー（副知事、県警参事官を除く）は、現在16名で、このうち異動は13名（うち退職者・役職定年者5名）となっています。

このように、新たな力を加えながら、引き続き県勢浮揚に向けて、全力で取り組んでまいります。

## 【職員数】

知事部局の職員数については、274人の退職者がいる中、新規採用者数は平成以降で最多の186人となり、4月1日時点の職員数（見込み）も、昨年4月1日と比べ19人の増の3,441人と、過去10年で最多となります。

なお、この人数には、4月1日現在で育児休業及び産前産後休暇を取得している職員など89人を含んでおり、これを除くと3,352人となります。

## 【女性職員の積極的な登用】

適材適所の人事配置を基本としながら、時代の要請にあった県の政策の立案や事業を推進していく上で、職員全体の総合力が最大限に発揮されるよう、引き続き能力のある女性職員を積極的に登用しました。

特に今回は、課長補佐級の女性職員を積極的に上位の職に登用し、2等級の女性職員は53名と前年より8名増加し過去最多となりました。特に、技術職においてもこれまで本庁課長への登用がなかった職種での登用も図りました。

（課長補佐級から課長級への昇任18人）

また、チーフ級以上のいわゆるポスト職にも女性を登用し、将来的に管理職を担うための力の蓄積を図りました。

知事部局における管理職、ポスト職に占める女性の割合は次のとおりで、管理職については過去最高となりました。

○知事部局における管理職に占める女性の割合 22.0%（R7:20.2%、R6:19.7%）

○知事部局におけるポスト職に占める女性の割合 30.0%（R7:31.0%、R6:29.7%）

※上記割合はいずれも派遣職員を含んだもの

## 【職員への期待】

令和8年度は、本県の最重要課題である人口減少問題の克服や南海トラフ地震対策など多くの課題に向かって、県庁が改革の先頭に立ち、オール高知の体制で着実に成果を重ね前に進んでいかなければなりません。

全ての職員には、公平性や前例に過度にとらわれず時代の変化に即応すること、県民目線に立った横断的・総合的な政策の展開、さらには正確性の重視よりも時間のコストを意識したスピード感のある対応など、従来の県政の殻を破ったアプローチを意識していただき、官民協働、市町村との連携協調の下、県勢浮揚に向けて、より踏み込んだ挑戦をしていただきたいと思います。

その上で、「共感と前進」という県政運営の基本姿勢の下、県民の皆さんとの対話の機会を積極的に設け、県政に対する共感をいただきながら、様々な課題の解決にも取り組んでいただくことを期待します。